

② 本校のめざす生徒像

教育目標を具体目標、行動目標として示すことにより、職員にも生徒にもわかりやすいものになった。しかし、もっと大切なことは本校がめざす生徒像を正しく焦点化することであった。

教育目標	
めざす生徒像	具体目標
① 正しく判断し、自主的行動	① 自ら学ぶことができる。
② 自ら学ぶ	② 他人で行動できる。
③ 困難を守り、礼儀を重んじる生徒	③ 考え方の基本を身につけること
	④ 目標心をもつことができる。
	⑤ 態度のある行動ができる。
	⑥ 心のこもったあいさつができる。

「自主自律」が教育目標であると単純に考えている生徒が多かったが、これでは不十分である。

その理由は教育目標のひとつに「健康で強い意志をもつ生徒」が掲げられているからである。自主自律のなかに健康で強い意志をもつ生徒が含まれているとみることは無理がある。

そこで、本校のめざす生徒像を教育目標を総合的にとらえ次のように焦点化した。即ち、「自主自律の精神に富み、健全な心身をもつ生徒」である。しかし、このままでは表現が長いので「自主自律の精神と健全な心身」とした。

③ 「学習の合言葉」の見なおし

ア 本校の学習の合言葉は10年以上の歴史をもっている。つくられた当初は長い文章であった。その後、誰にでも理解できるよう改善されて今日に至っている。本校のめざす生徒像に一步でも二歩でも近づけるよう教師と生徒が一体となって育ててきたものである。

昭和62年度は年間5回、学習の合言葉強化週間を設けた。強化週間中は学習委員会が中心になり正しい学習態度を身につけようと努力してきた。

学習の合言葉の(1)と(6)は家庭学習に深くかかわっており、(2)～(5)は授業時の生徒の学習態度である。

イ 学習の合言葉のねらいと強化週間の状況

第1回は5月下旬に実施、12月までに計画通り既に4回、全校の組織をあげて行ってきた。評価はABCの3段階とし、Aは完全に守れたもの、不十分のものはすべてCとした。

評価は、強化週間中毎時間その授業の担任

が「学習状況連絡カード」に観察法により、生徒の成長を願いながら記入し最後に学級担任が集計するという方法で実践してきた。

「学習の合言葉」の具体的ねらい

学習の合言葉	合言葉がもっているねらい(意味)
(1) 忘れ物をしないようにする	学習用具を準備しておくことはもちろん、学習をして授業のぞきごと、宿題をきちんとやっておくことなどが出るようにすることが、この言葉のねらいです。
(2) 始業前に準備する	席に座席するだけでなく、先生がくる前に、教科書やノートを開き、朝の時間に学習したことや今日学習する内容にざっと目を通しながら、先生の来るのを待つことが出来るようにすることが、この言葉のねらいです。したがって、教室移動を早めに行うことの意味もこの言葉のなかに含まれています。
(3) 元気にあいさつをする	形だけのあいさつでなく、心のこもった、そして意欲に満ちたあいさつが出来ようになることが、この言葉のねらいです。心のあいをこめて、生徒も教師もたがいに「よしやるぞ!」「ガンバロー!」といった気持ちになってこそ学習の効果が上がるのです。
(4) 人の話は目で聞く	この言葉の大きなねらいは、集中力です。私語・手づつやめ、先生の話や友達の発言・発表に耳を向け、大切なところはメモをしながらかくような学習態度が重要です。さらに、この言葉の中には、姿勢を正しくして聞くという意味も含まれています。
(5) 勇気をもって手をあげる	この言葉の大きなねらいは、積極的な学習態度です。授業の質疑、生徒の発言など、皆さんの積極的な発言・発表がよい授業を作っていくのです。正しい言葉づかいで、はっきりと話すことが出来るようにしよう。このことには、社会人になってからも大切なことです。
(6) しっかりとまとめる	この言葉の大きなねらいは、たしかめ(復習)をしっかりするということです。授業もやり直しは出来ませんが、もういちど、教科書やノートを開き、今日学習したところを大筋からとってどこまで理解したか、本当に分かったかどうかをドリルで確認することが必要です。

学習状況連絡カード

年 組 月 日 く

記入の記号

- ・シ(私語) ・ヨ(よそ見) ・ム(無気力) ・△(未提出、宿題をやっていない)
- ・フ(ふざげ) ・テ(手はず) ・×(用具忘れ) ・◎(優れている-発表、課題、予習、態度など)

1						
2						
3						
4						
5						
6						

1						
2						
3						
4						
5						
6						

クラス全体の評価 (○, △, ×)						
1	忘れ物をしない					
2	始業前に準備する					
3	元気にあいさつをする					
4	人の話を目で聞く					
5	勇気をもって手を上げる					
6	しっかりとまとめる					

ウ 学習の合言葉からみた教育目標と研究主題
学習の合言葉が教育目標ならびに研究主題から遊離したものであってはならない。それらの関連を全体として、しっかりとらえることが重要である。

従来のもを学習の合言葉の基礎的段階とし、これを内容的にやや高め発展的段階として位置づけ、これによって生徒の意識の一層の高揚と実行しようとする態度の育成をねらいとして見なおしを図った。

(2) 研究結果の考察

① 学習の合言葉の実践と生徒の変容